

小涌谷から湯坂路で石仏群へ

日 時：2021年2月27日（土） 天候：晴 約11.5km 歩数2万歩 健脚LV2

コース：小涌谷駅（標高523m）～千条ノ滝～蛇骨川沿いの登山道～浅間山（標高802m）～湯坂路～鷹巣山（標高834m）～湯坂路入口～芦之湯^湯～国道1号最高地点（標高874m）～石仏群～精進池～「石仏群と歴史館」～お玉ヶ池～興福院～箱根旧街道～元箱根港バス停～箱根神社～元箱根港バス停（バス）～箱根湯本駅バス停

2月27日、「小涌谷から湯坂路で石仏群へ」を歩きました。このコース、1月13日に予定していましたがコロナ禍で中止にしたコースです。

政府が1月7日、東京、神奈川、埼玉、千葉の1都3県を対象とする新型コロナウイルス感染防止のため2度目となるに緊急事態宣言を発出。期間は8日から2月7日までの1ヵ月。14日には、大阪、兵庫、京都、愛知、岐阜、栃木、福岡の7府県にも発出しました。さらに2月2日、栃木県を除く10都府県で緊急事態宣言を3月7日まで延長すると決めました。

神奈川ウォーキングクラブは、12月23日のウォーキングからすべて中止または延期してきました。宣言期間解除が予定される3月8日の「相州小出七福神めぐり」から再開予定です。

クラブの再開より一足先に、小涌谷駅から浅間山までの下見を兼ねての山行、鎌倉時代に彫られた石仏群が静かに迎えてくれました。



箱根湯本駅（標高 96m）～塔ノ沢駅の銭洗弁天～小涌谷駅（523m）

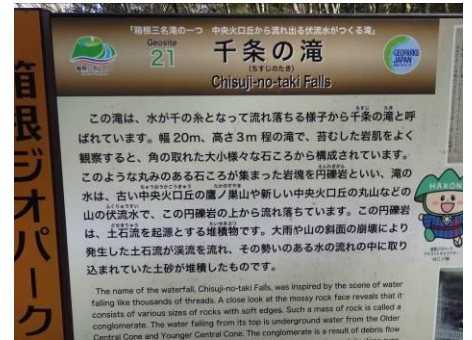
久々に箱根湯本駅へ、駅ホームは土曜日だというのに閑散としています。8時52分発に乗車、先頭車両の乗客は10人。車内の駅名案内表示には駅の標高が書かれています。湯本駅は標高96m、発車するとすぐに高度を上げ、3つトンネルを抜けるとトンネルとトンネルの間に塔ノ沢駅があり、ホームの横に深沢銭洗弁天が祀られていました。

3回ほどスイッチバックをして9時27分、標高523mの小涌谷駅へ着きました。降りたのは私を含めて登山客3人だけ。駅前に一昨年（2019年）の台風19号災害による復旧工事の様子が写真展示されていました。



小涌谷駅（9時35分）～林道～地下水がすだれ状に落ちる千条ノ滝

ストレッチをして9時35分、スタート。駅を出たところに案内板があり、国道1号を横断して自動車道を上って行きます。案内板を左に曲り林道に入りました。水源の改修工事現場を通り過ぎると千条ノ滝が見えてきました。滝は、高さ3mほどですが幅20mにわたって湧出する地下水がすだれ状に落ちる優雅な滝です。水が千の糸となって流れ落ちる様子から千条ノ滝（ちすじのたき）と呼ばれています。



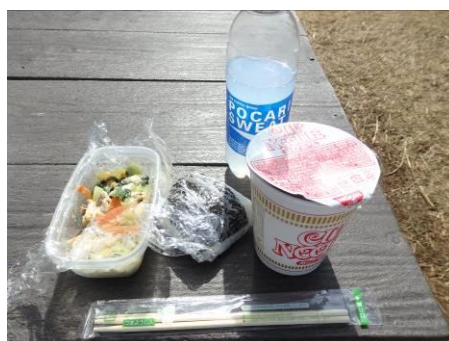
千条ノ滝～蛇骨川沿いの登山道～分岐～10時25分浅間山（802m）

千条ノ滝の流れ落ちるのをしばし楽しみ、ここからがいよいよ山行です。石がゴロゴロしている蛇骨川に架かる木橋を渡り、川に沿って登山道を上ります。整備されているところもありますが大きな石もゴロゴロ、足元に注意して上ります。水の流れ落ちる音を聞きながら上って行くと分岐の道標が出てきました。右の蛇骨川に沿って行くと鷹巣山、左の浅間山方面の急登へ進みます。木の根のはった足場の悪いところが続く、少し息が上がりマスクを外し、上着を脱ぎました。上りが少しゆるやかになり、分岐を右に進み10時25分に浅間山山頂。椿の花が咲いていました。ここまで出会った登山者は1人、山頂では2人が休憩中でした。



浅間山～湯坂路～小走り下り～～急登～10時47分鷹巣山(834m)

7回目の草地在る浅間山山頂、今までで一番穏やかで静かな山頂でした。水分補給をして鷹巣山をめざします。ここからは湯坂路で最初は緩やかな下り道、300名山を踏破した田中陽希になったような気分を味わいたく小走り下り、風が心地よい。上ってくる3人組とすれ違い、お互いにマスクは付けていず、軽く会釈。千条ノ滝の分岐まで下りて、ここからは急登。10時47分、標高834mの鷹巣山山頂(鷹巣城跡)に到着。小涌谷駅からの所要タイムは82分、少し自信ができました。ベンチで早めの昼食。富士山は見え、箱根外輪山の明神ヶ岳、遠くに大山の山頂が見えました。



鷹巣山～湯坂路入口道標～芦の湯バス停～国道1号最高地点 874m

11時12分、鷹巣山から緩やかな湯坂路を下ります。10分ほどで昨年9月13日に歩いた飛龍の瀧・畑宿方面への分岐。今回は直進、国道1号に出たところに湯坂路入口の道標がありました。ここからは長い上り道、正月2日の箱根大学駅伝はここを走り上って行きます。東芦の湯バス停へ出ました。ここから長い下り、ロングアングルで走る選手が映し出されます。11時42分、芦の湯バス停。トイレ休憩、「雨が降ったら、この待合室で雨をしのいで昼食がとれる」などと思いながらスタート。国道に沿った石畳道を上って行くと、「国道1号最高地点874m」の標識が出てきました。この日のコース最高地点でもあります。



曾我兄弟・虎御前の墓～二十五菩薩～多田満仲の墓～石仏群と歴史館

国道1号最高地点のところ元箱根石仏石塔群入口です。風が冷たくなってきました。200mほど進むと「曾我兄弟・虎御前の墓」が並んでいます、左の2基が曾我兄弟の墓、右が虎御前の墓です。国道1号下のトンネルをくぐり抜けると「二十五菩薩」、岩盤に小さな仏像がいくつも彫られていました。大きな1基の墓は、平安時代に活躍した源氏の祖先多田満仲の墓。六道地蔵地域は工事中で入れず、大きな岩に浮き彫りされた磨崖仏の地蔵菩薩像が見ることができず、残念でした。右手は精進池、直進すると「石仏群と歴史館」があり、石仏群や周辺の史跡巡りのための情報が展示紹介されています。



石仏群と歴史館～石畳道の下り～伝説につつまれたお玉ヶ池～散策路

「石仏群と歴史館」から国道1号の横断歩道を渡り、お玉ヶ池・元箱根方面をめざします。少し上って、あとは、杉の木立の中の歩幅が合わない石畳をひたすら下ります。20分ほどして分岐、お玉ヶ池方面へ進みます。お玉ヶ池の由来は、江戸時代に「お玉」という女の子が、奉公の辛さに耐えかねて伊豆の大瀬村に戻ろうと関所破りをしてとらえられ、処刑した首を洗ったために名付けられたと伝わっています。そのような伝説が嘘のような静かな木道を気持ちよく歩きます。お玉ヶ池を中心にしたこの一帯は道も整備されて東屋もある散策路。振り返ると、後ろには形の良い二子山が見えました。



興福院・お玉観音～箱根旧街道～元箱根港～箱根神社～元箱根港

お玉ヶ池散策路を出て県道（旧東海道）を横切り、お玉観音が祀られている興福院に入ります。お玉観音は、お玉の霊と箱根の山で遭難や病死した旅人の霊を祀った観音さまです。お玉ヶ池越しに二子山が見えました。興福院正面入り口を出ると箱根旧街道です。権現坂の石畳道を下り、箱根神社一の鳥居をくぐり13時30分、湖畔を吹く風が冷たい元箱根港へ着きました。観光客はまばらです。箱根神社へ向かいましたが、カメラのバッテリーきれで写真はなしです。神社は、車できた人でかなりの人が参拝していました。14時20分に元箱根港へ戻りました。箱根新道経由の急行バスは、コロナ禍で1時間に1本へ減便となっていて、小田原駅まではいかず全部箱根湯本駅止りでした。14時55分、無事に箱根湯本駅に着きました。



2万歩丁度11.5kmの「小涌谷から湯坂路で石仏群へ」でした

1月に予定していたコースは、最初「箱根神社初詣&コロナ収束祈願」で箱根神社までのコースで計画していました。ところがコロナ禍で、混雑が予想される箱根神社まで行かずに元箱根港までのコースに修正。しかしそれもかなわず中止としました。今回、元箱根港から箱根神社往復をプラスして2万歩丁度の11.5km山行でした。歩幅は57.5cm、街歩きでは1時間4km強の速さのときで68.9cmですから、10cm以上短い歩幅でした。

「神奈川ウォーキングクラブで再度コース計画したい」と思いつつ芦ノ湖を後にしました。

(いちむら記)